

|              |                         |            |         |
|--------------|-------------------------|------------|---------|
| <b>授業科目名</b> | 人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309) |            |         |
| <b>時間割名</b>  | 人間教育学ゼミナール（基礎）(45105)   |            |         |
| <b>時間割担当</b> | 山田明広                    |            |         |
| <b>実施期</b>   | 通年                      | <b>単位数</b> | 4 必修 選択 |
| <b>曜日・時限</b> | 木・5                     |            |         |

### 授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは主として、中華文化について学んでいきます。まず、中華圏とはいかなる国や地域であるのか確認した上で、その国や地域の言語、飲食、年中行事、宗教、習俗などといった生活に密着した事象について具体的に見ていくことで、中華圏について総合的に理解し、それによって中華圏の人々との交流に資するとともに、国際的視野を身に着けることを目標とします。

### 学習の到達目標

- ・中華圏の国や地域、それぞれの特徴を把握する。
- ・中華圏にはどのような文化が存在し、それが日本にどのように影響しているか理解する。
- ・自ら主体的にテーマを見つけ、調べ、考えるといった方法や態度を身に付ける。
- ・効果的なプレゼンテーションの方法を身に付ける。

### 授業方法・形式

- ・前半は、毎回プリントを配布し、それに従って中華圏に関する基礎的なことを講義形式で学んでいく。
- ・後半は、各自テーマを見つけて自ら調べ、その結果を演習形式で順番に発表していく。
- ・必要に応じて学外にてフィールドワークを行う。

### 授業計画

#### 【前期】

- 第1回：ガイダンス
- 第2回～第4回：中華圏の国や地域とその言語
- 第5回～第6回：中華圏の飲食文化
- 第7回～第9回：中華圏の年中行事
- 第10回～第12回：中華圏の祭祀文化
- 第13回～第15回：中華圏の喪葬文化

#### 【後期】

- 第16回：個人のテーマを決める
- 第17回～第22回：各自のテーマに沿った調査・研究
- 第23回～第29回：研究発表と討論
- 第30回：まとめ

### 成績評価の基準

ゼミへの参加態度30%、レポート20%、発表50%、以上を基本として総合的に判断する。

### 準備学習・復習及び授

- ・ゼミで使用したプリントは毎回のゼミ終了後に必ず復習する。
- ・中華圏に関する本を積極的に読む。

### 履修上のアドバイス及

- ・中国語関連科目および漢文学関連科目を履修済みであるか並行して履修することが望ましい。
- ・極力丁寧に指導しますが、分らないことは何でも聞くのではなく、まず自分で調べてみようという態度でゼミに臨んで下さい。

### 教材・教科書

特に指定しない。毎回、プリントを配布する。

### 参考書

適宜、指示する。